

## 「やりたい」「やろう」「やる」

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン  
「今日のフォーカスチェンジ」第2504号  
(2010年9月6日発行)より

私には「夢」がありません。

…という、「えーっ」と驚かれそうですが、はい。「夢」はありません。ただ、「やると決めたこと」があるだけです。

「〇〇がかなったらいいなあ」。そんなふう語るひとに、しばしば出会います。それはそれでかまいませんが、そんなひとのなかには、何年経っても、同じことを語っているひとがいます。そして、ちっともその「夢」に近づいていないようなのです。

私のまわりには、「こんなことをしたい」「こんなことを実現させたい」と、考えているひとたちが、おおぜいいます。でも、そのひとたちは、「〇〇がかなったらいいなあ」という言いかたは、あまりしていないような気がします。

そのひとたちは、こう言うのです。「〇〇をしたい。だから、まず、□□をやる」。そうです。かなえたいことは、どこか知らないところからやってくるのではなく、自分の行動のなかにあるのです。だから、それは、いつでも具体化できるのです。

そして、私も同じなのです。たとえば、3年前からはじめた講座『「聴く」を磨く』も、「やってみたい」「やろう」「やる」の順で、2008年からスタートしました。2010年の秋、東京では、第5期がスタートし、全国10か所近くでの開催が決定しています。

もうひとつは、「私の街が好き！」プロジェクト。地域の歴史や民話に取材した脚本を、地域のひとたちが、その地域で上演する。演劇をとおして、もう一度、地域のつながりを取りもどすきっかけづくりのプロジェクト。これもまた、私にとってのライフワークです。では、どのようにかたちにしていくのか。

半自給自足の生活をめざして、数年前、友人が、岩手のちいさな町に移住しまし

た。友人もまた、地域で劇づくりをやりたいと考えていました。話をすることで、私のやりたいことと、友人のやりたいことが一致しました。

それからは、あっという間の展開でした。移住して数年。友人は、しっかりと、地域に居場所をつくっていました。そこで生まれた人脈が、流れを加速させてくれました。町の教育委員会が乗ってくれ、主催行事として、立ち上げることが決まりました。

「みんなで楽しむ演劇体験講座」募集をかけると、小学1年生からおとなまで、キャスト・スタッフあわせると、20名以上の町のひとたちが集まってくれました。第1回目を、2010年9月5日にスタート。3か月かけて、1本のお芝居をつくりあげます。

「やりたい」という思いがありました。「やろう」という決意がありました。「やる」という行動がありました。すべて、この繰り返しのなのです。だから、私は、それを「夢」と呼んだこと

がないのです。だって、いつだって、目の前の現実が、それなのですから。

未来を語るときは、いつでも、現実とつながっているのです。いま、何をすることが、未来を変えていくのです。

もちろん、「夢」を否定しているわけではありません。でも、どうぞ、「夢」を語るときは、「では、いま、何を？」をセットにしてみてくださいね。それがなくては、「夢」は、「夢想」のままですから。

「やりたい」「やろう」「やる」。シンプルだけれど、パワフルなこの思いと行動の原則を、どうぞ、活用してみてくださいな。あなたの、「夢」が、夢でなくなる日…そう、現実になる日のためにこそ、ね！

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、**2003年11月1日**創刊。**2010年9月、2500号**達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>